事務事業評価シート

令和　1　年度事後評価・決算

令和　3　年　2　月　22　日時点

所管課	建設課	担当班	土木班

事務事業名	コード	29300	交通安全施設維持補修事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別
					一般	8	2	2	☑ 主な事業 ☑ 国土強靱化地域計画 ☑ 新市建設計画 ☐ 定住自立圏構想 ☐ 主要事業
施策体系	基本施策	31	交通安全対策の強化	根拠法令	道路法				
	施策の展開	61	交通安全環境の整備	戦略事業	266	交通安全施設維持補修事業			
	施策の展開			戦略事業					

(1)事務事業の概要

① 事務事業の期間

☑ 単年度繰返
　☐ 平成　　年度～
　☑ 開始年度不詳
☐ 期間限定複数年度
　平成　　年度～
　平成　　年度まで

② 事務事業の内容　※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない

・交通安全の観点から必要な箇所に標識・照明灯・区画線等の交通安全施設の新設を行う。また、以前設置された交通安全施設の維持補修・更新を行う。
・交通安全施設・・・防護柵(ガードレール)、照明灯、標識(案内標識、警戒標識)、区画線、路面表示、カーブミラー等
・歩道設置や交差点改良は別事業で実施し、近年では、危険個所へのカラー舗装等の注意喚起、耐用年数を迎えた防護柵、カーブミラーの更新、また昨年度実施された警察、学校、教育委員会と通学路の緊急合同点検点検を行った箇所への対応が中心になっている。

③事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④事務事業に関する課題・環境の変化	⑤事務事業に対する住民からの意見等
交通事故の減少を目的として事業が開始された。	自動車の増加や、市道の総延長の増大により、交通安全施設の対策必要箇所は増えている。また、以前整備された交通安全施設は老朽化が進んでいる。	市民から、道路における交通安全施設の設置要望や不具合の情報等が多数寄せられている。また、近年相次いだ通学中の児童の交通事故を受けて通学路の安全対策が求められている。

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(1年度の決算)　単位:千円

1.維持補修費	1,188	交通安全施設の維持補修(主に照明灯の電球交換)
2.工事請負費	20,781	交通安全施設全般の新設・更新
3.原材料費	919	カーブミラー、道路標識の購入費(職員直営の補修に使用)
4.委託料	5,661	交通安全施設維持補修業務委託
5.負担金補助及び交付金		踏切道安全対策工事負担金(旭二号踏切)

② 特定財源の内訳(1年度の決算)　単位:千円

1.国庫支出金		
2.都道府県支出金		
3.地方債	680	交通安全施設維持補修事業債
4.その他		

前年度増減理由	交通安全施設の修繕要望が多くあり、工事費が増えたため。

			単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(予算)
事業費	費目内訳	1. 維持補修費	千円	242	769	562	1,188	572
		2. 工事請負費	千円	13,882	7,811	12,317	20,781	28,690
		3. 原材料費	千円	2,303	215	281	919	832
		4. 委託料	千円	5,365	7,716	7,617	5,661	6,500
		5. 負担金補助及び交付金	千円			1,686		
	事業費計　(A)		千円	21,792	16,511	22,463	28,549	36,594
	財源	1. 国庫支出金	千円					
		2. 都道府県支出金	千円					
		3. 地方債	千円				680	10,500
		4. その他	千円			1,700		
		5. 一般財源	千円	21,792	16,511	20,763	27,869	26,094

従事職員数　常時　1 人　最大　3 人 × 30 日 ＝ 延べ　90 人

(3)事務事業の手段・目的と対応する指標

手段

① 主な活動

1年度実績(1年度に行った主な活動)

交通安全施設の設置・管理
通学路の危険個所への対応

③ 活動指標名

		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
ア	防護柵新設・更新延長	m	249	215	120	84	380
イ	カーブミラー新設・更新箇所数	箇所	19	33	53	23	29

目的

② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)

対象	市道及び利用者(市民)
意図	安全性が向上する。安心して通行できる。
対象	
意図	

④ 成果指標名

		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
ア	危険解消箇所数(予定した対策が完了し、危険が解消された箇所数)	箇所	275	337	438	481	505
イ							

(4)事務事業優先度評価の結果

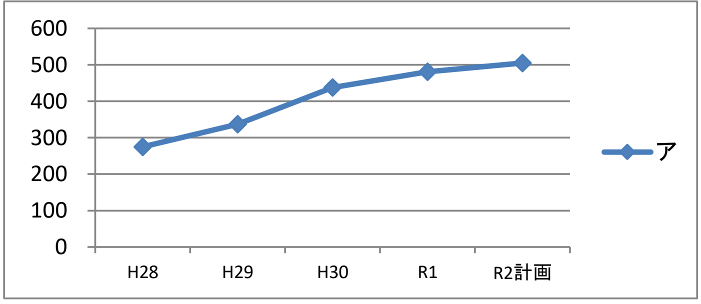
①成果優先度評価結果

		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			
	普通		⑤	
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果

		コスト比率		
		下位1/3	中位1/3	上位1/3
評価結果 成果優先度	①			
	②③			
	④⑤⑥			(11)
	⑦⑧⑨			

(5)成果指標の動向



(6)事務事業に関する評価

評価内容

① 進捗状況　☐ 完了　☐ 順調　☑ 概ね順調　☐ 停滞　☐ 実施困難

【コメント】
(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)

② 成果の状況

成果指標ア	成果指標のタイプ	↗	数値増＝成果向上	☐ 向上	☑ 横ばい	☐ 低下
成果指標イ				☐ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下

【コメント】
(低下の場合、その理由)

成果動向	比較	27年度 28年度	28年度 29年度	29年度 30年度	30年度 1年度	1年度 2計画
	ア	33	62	101	43	24
	イ					

③ 今年度取組事項
(2年度に取り組む主な事項について記載)

時期	内容
令和2年度	交通安全施設の設置・管理 通学路の危険個所への対応 長寿命化計画の実施

今後の方向性

☐ 拡大　☑ 現状維持　☐ 見直し
☐ 縮小　☐ 廃止・休止　☐ その他(　　　　)

令和2年度	長寿命化修繕計画の実施,, 交通安全施設の設置・維持管理, 通学路の危険箇所への対応